

社会人としてのマナー講座5 責任の自覚

例えば会社にお客さんが来られたり電話をかけてきた際、新入社員が対応した場合に、相手は新入社員かどうかは分かりません。その時にいい加減な受け応えをすれば、大切なお客さんに迷惑をかけ、会社の信用を失うことにもなりかねません。新入社員といえども、外部の人に対しては、いつでも自分が会社の代表である自覚が必要です。社会人になるということは、自分の話す言葉、自分がとる行動に責任が求められるということです。



学生時代は、それほど責任が要求されることはありませんでしたが、就職する皆さんにとっては、これからは社会的に一人前の人間として認められるわけです。それは、一人前の社会人、職業人としての責任を負うことでもあります。勿論入社当初は、周囲の人は新入社員として気を使ってくれ、多少の失敗や間違いは大目に見てくれるでしょう。しかしいつまでもそれに甘えてはいけません。外部に対しては、あなたは常に会社の代表者としての責任があることを忘れないください。社会人になるということは、学校生活の延長のような気持ちではつとまらないということです。少しずつ社会人になるための心の切り替えをしていって下さい。



社会生活のケジメをつける

学校生活の中で授業中に携帯をいじったり、漫画を読んだり、隣の人と話している人がいますがこれは本来やってはいけないことです。また以前教室のコンセントで携帯電話の充電をしている者が多く、その電気代がバカにならず学校では最近壁のコンセントの電源を切っています。これらは学校だからやってはいけないことではありません。社会人になったとき、決して許される行為ではありません。

会社に入っても同じようなことをしたり、ボールペンや便せん等の事務用品を私用に使うてはいけません。まして会社の工具等を持ち帰ったりするのはもってのほかです。仕事で外出した際に、私用の買い物をしたり友人を訪れたり、勤務時間内に個人的な目的でインターネットをのぞいたり、私用電話をかけたり私用のメールを書いたりしてはいけません。

また勤務中にみだりに席を離れることも慎まなくてはなりません。席を離れるときは上司の許可を得たり、周りの人に行き先を知らせておくことが大切です。休憩時間を過ぎて席に戻らなかつたり、休憩時間と勤務時間の区別が付かない態度をとることも許されません。少くくらい良いではないかという甘い考えは社会では許されません。会社では自分の時間と引き替えに給料をもらっている以上こうした公私の混同をしないよう注意したいものです。

また上司や先輩になれなれしくすることも慎まなくてはなりません。自分では親しみを込めているつもりでも、相手の人は必ずしも皆さんのような思いで受け取らないことも少なくありません。後輩としての礼儀を尽くすことが必要でしょう。特に仕事中はこうしたケジメを心がけることが必要です。「親しき仲にも礼儀あり」。